

## 銚子など地震活発化

### 震災後プレート内部の力変化

気象庁解析

千葉県・銚子付近や茨城・福島県境など関東地方の一部地域で、東日本大震災後から現在にかけて地震活動が活発な状態が続いている

千葉県・銚子付近や茨城・福島県境など関東地方の一部地域で、東日本大震災後から現在にかけて地震活動が活発な状態が続いている

関東地方直下では、陸のプレート(地球を覆う岩板)の下に、南と東から海側のプレートが沈み込んでいく。解析によると、震災前は目立った地震活動のなかつた千葉県

た千葉県の銚子付近や茨城・福島県境で、震災直後から陸のプレート内部を震源とするマグニチュード2以上の地震が多く観測された。関東東部では、海側のプレートで起こる地震も増えている。大震災でプレート内部にかかる力が変化した影響とみられる。地震活動は徐々に低下しているが、気象庁は「大きな地震の可能性は否定できないので、注意して」と呼びかけている。